

なご鍼灸接骨院新聞

ギラン・バレー症候群は

体が自分の神経を攻撃する病気です。手足に急に力が入らなくなる病気で、多くの場合は回復しますが、重症化する人もあります。高齢者の方は特に注意が必要です。



ギラン・バレー症候群とは、神経を攻撃する病気です。手足の神経が傷つき、足が麻痺したり、歩行が困難になることがあります。

筋力低下・手足に力が入らなくなり、ボタン留めやつまむ動作が難しい場合があります。また、手足に力が入らなくなり、歩行時にふらつきや階段の上り下りが難しくなることがあります。足が麻痺したり、腕に広がり、徐々に

Acupuncture NEWS

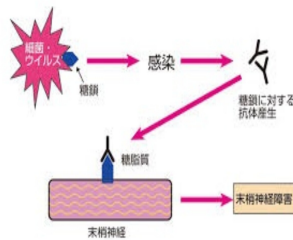
行 所
なご鍼灸・接骨院
任 興
責 昌
行 古
名 須
横 賀
須 市
賀 船
1-47-1

とが多いです。だるさや疲れやすさや体が重く感じることあります。進行すると歩行が不安定になる。顔や目の動きが困難。飲み込みにくい。呼吸が苦しくなる。体が自分の神経を攻撃する病気です。

原因とリスク
風邪などの感染症の後に発症することが多いです。主な原因は、感染後、自身の免疫システムが誤って末梢神経を攻撃してしまうことです。50歳以上の高齢者に発症の仕組みは、風邪やウイルスや細菌による感染症にかかった後、カンピロバクター、サ

伊勢志摩歌便り 名古屋浩子
黄水仙風に揺られて香を散らし
前籠を揺らし大根影長し
鶯も発声練習するらしく光り射し込む山に声する
老人も異国の人も混じり合い抹茶啜りをりしやぶしやぶ市場

免疫システムの異常
イトメガロウイルス、エプスタイン・バールウイルス、マイコプラズマなどが関連する病原体です。成分と似た構造を誤って攻撃し、末梢神経が炎症を起し、脳からの指令が筋肉に伝わらなくなり、手足の麻痺や筋力低下が現れます。回復には早期の治療がとて大切です。治療方法として免疫グロブリン療法、血液をきれいにする血液交換療法があります。力低下が残ることがありますが、高齢の方や重症だった方は、後遺症が残ります。



回復と経過
ギラン・バレー症候群の症状は、通常発症から2〜4週間以内にはピークに達し、その後回復に向かいます。多くの患者さんが、数ヶ月から1年で症状が改善し、元の生活に戻ることができるとされています。完全回復は治療を行った場合、発症から1年後には約6割、2年後には約8割、3年後には約9割の患者さんが完全回復します。歩行能力は約1〜2ヶ月で回復しますが、後遺症のリスク

診療科目：腰痛、膝痛、首肩痛、五十肩、神経痛、頭痛など

